

薬剤耐性は感染時の薬剤耐性HIVの伝播（伝播性薬剤耐性）、またはウイルス学的非抑制時に獲得（獲得性薬剤耐性）

- ARV耐性は、ART下でHIVを複製可能にする変異によりもたらされ、ARVの抗ウイルス効果を妨げる。
 - 未治療患者および治療歴のある患者にも認められる。
 - 薬剤耐性の発現は、ARVへの曝露歴、アドヒアランス、ARVレジメンの薬剤が十分な活性を持つかどうか／ARVレジメンの効力による。
 - NRTIの単剤療法または2剤併用療法（ウイルス学的抑制が不十分）の治療歴がある患者集団では、発現率が高いと考えられる。
- **伝播性薬剤耐性**：感染時（または重複感染時）に獲得
 - 患者は薬剤耐性HIVに感染する。
- **獲得性薬剤耐性**：ARVの存在下でのウイルスの複製
 - 通常、ARVの血中濃度が低下している状況で発現する。
アドヒアランス不良、治療中断または薬物相互作用による。
 - 複製能を高める自然突然変異が生じる場合がある。
このような変異を有するHIV株が優勢なHIV株になる。